

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉研究科
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 人間福祉研究科が求める大学院生像を具体化し、ホームページや大学院案内等の関連するすべての広報媒体で明示する。	→関西学院大学で出されている学生の受け入れに関するすべての広報媒体での公表。	B
2. より厳正な選抜試験を実施し、人間福祉研究科にふさわしい大学院生を選抜する。	→入学生に対するアンケート調査および入学生の卒業後の進路に関する報告書の作成。	C
3. 研究科への門戸を広く開くために外国人、社会人等の特別学生の入学者数を一定数確保するための制度導入を検討する。	→基礎的な知識に関連する科目および日本語教育科目設置に関する研究科での年1回の委員会の開催。	B
4. 9月と2月の年2回実施されている大学院入試の公正さや結果を比較検証する。	→大学院諸問題検討委員会での年1回の検討。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目5.0.1	(方針) 求める大学院生像を広報媒体等を通じて周知し、厳正な入試を実施し、入試に関して公正さを検証する。また、外国人・社会人等の特別学生を受け入れる制度導入を検討する。
☆ 小項目5.0.2	(現状説明) 求める大学院生像の明示については、2009年度に大学院諸問題検討委員会でアドミッション・ポリシーを作成したところである。習得しておくべき知識等の内容・水準及び障がいのある学生の受け入れ方針について、2009年度は、大学院諸問題検討委員会において検討しており、現在も検討中である。
☆ 小項目5.0.3	(現状説明) 前期課程の収容定員は16名(8名×2年)のところ、2009年度現在の学生数は17名であり、適切な学生数を確保している。後期課程の収容定員は14名(4名+5名+5名)であるが、2009年度現在、10名の学生が在籍している。なお、博士課程は、2009年度で設置後2年目を迎えることになるので、適切な学生数を確保していることになる。外国人学生は1人である。

★ 小項目5.0.4	(現状説明) 入学者の選抜に関する定期的な検証の実施については、大学院諸問題検討委員会において随時入試の適切性の検討を行っているが、定期的な検証という点では十分でない面がある。
★ その他	

《特定6項目データ》

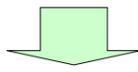
本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【人間福祉研究科】		前期/後期課程	単位	2006	2007	2008	2009	2010	備考
指標1	入学者に占める一般入試入学者の比率	前期課程	%			50.0%	62.5%	44.4%	一般入試入学者数÷入学者数
		後期課程	%			66.6%	66.6%	0.0%	
指標2	志願者総数	前期課程	人			13	17	18	
		後期課程	人			5	5	4	
指標3	志願者倍率	前期課程	%			162.5%	212.5%	225.0%	志願者÷入学定員
		後期課程	%			100.0%	100.0%	80.0%	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★ 小項目5.0.3	適切な学生数を確保している。
小項目5.0.4	
その他	



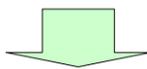
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★ 小項目5.0.3	現在の選抜方法を継続する。
小項目5.0.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	定期的な検証という点ではまだ十分できていない。
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	入試の適切な実施の検証方法を検討し、実際に検証を行う。
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他
(自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○入学者の選抜についての定期的な検証が進められることが期待されます。

【学内委員】

○現状説明などの記述は明確である。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

5.0.0.S1	学生の多様性の確保ー入試形態数と入試形態別入学者の割合
5.0.0.S2	各学部の募集人員のうち、一般入試(センター利用入試を含む)の割合
5.0.0.S3	地域別入試会場別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数
5.0.0.S4	入試講評(問題と正解、正答率とそのコメント)の公表とその頒布数
5.0.0.S5	AO入試の受験者数と入学者数
5.0.0.S6	社会人学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S7	専門職大学院(KGPS)の受験者数および入学者数
5.0.0.S8	科目等履修生(教職免許状および博物館学芸員資格取得を含む)の入学者数
5.0.0.S9	聴講生の入学者数
5.0.0.S10	留学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S11	国別留学生数(学部別、研究科別)の経年変化
5.0.0.S12	学部における収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S13	学部における入学定員に対する入学者比率
5.0.0.S14	編入学定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S15	博士課程前期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S16	博士課程後期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在学学生数比率
5.0.0.S17	学部・学科の退学者数
5.0.0.S18	学部・学科の編入学者数

<個別的な指標>
